

体操競技個人総合

<条件1> もっとも低い得点だった1種目を除いた男子5種目、女子3種目の合計得点が高い方を上位とする。

それでも同点の場合、得点の低い2種目分を除いた合計比較、さらに同点の場合、3種目分を除いた合計比較・・・というように序列を決定する。

<条件2> すべての種目のEスコア合計の高い方を上位とする。

それ以降、もっとも低いEスコア1種目を除いた合計比較、さらに同点の場合スコアの低いEスコア2種目分を除いた合計比較・・・というように序列を決定する。

<条件3> すべての種目のDスコア合計の高い方を上位とする。

それ以降、もっとも低いDスコア1種目を除いた合計比較、さらに同点の場合得点の低いDスコア2種目分を除いた合計比較・・・というように序列を決定する。

体操競技（跳馬を除く）

<条件1> 得点に絡む4つのEスコア合計が高い方を上位とする。

<条件2> 得点に絡む4つのEスコアの中から、もっとも低いEスコア（実施減点の大きいスコア）1つを除いた合計が高い方を上位とする。

<条件3> 得点に絡む4つのEスコアの中から、もっとも低いEスコア2つを除いた合計が高い方を上位とする。

<条件4> 得点に絡む4つのEスコアの中から、もっとも高いEスコアが高い方を上位とする。

<条件5> 6つのEスコアの中から、もっとも低いEスコア1つを除いた合計が高い方を上位とする。

<条件6> 6つのEスコアすべての合計が高い方を上位とする。

体操競技種目別（跳馬）

<条件1> 2跳躍の得点のうち、もっとも高い得点を比較して高い方を上位とする。

<条件2> 2跳躍の得点に絡む8つのEスコア合計が高い方を上位とする。

<条件3> 2跳躍の得点に絡む8つのEスコアの中から、それぞれのもっとも低いEスコア1つずつを除いた合計が高い方を上位とする。

<条件4> 2跳躍の得点に絡む8つのEスコアの中から、それぞれのもっとも低いEスコア2つずつを除いた合計が高い方を上位とする。

<条件5> 2跳躍の得点に絡む8つのEスコアの中から、それぞれのもっとも高いEスコア2つの合計が高い方を上位とする。

<条件6> 2跳躍12のEスコアの中から、それぞれのもっとも低いEスコア1つずつを除いた合計が高い方を上位とする。

<条件7> 2跳躍12のEスコアすべての合計が高い方を上位とする。

体操競技団体総合

<条件1>もっとも低いチーム得点だった1種目を除いた男子5種目、女子3種目の合計得点が高い方を上位とする。

それでも同点の場合、チーム得点の低い2種目分を除いた合計比較、さらに同点の場合、チーム3種目分を除いた合計比較・・・というように序列を決定する。

<条件2>すべての種目のチーム得点Eスコア合計の高い方を上位とする。

それ以降、もっとも低いチーム得点Eスコア1種目を除いた合計比較、さらに同点の場合、スコアの低いチーム得点Eスコア2種目分を除いた合計比較・・・というように序列を決定する。

<条件3>すべての種目のチーム得点Dスコア合計の高い方を上位とする。

それ以降、もっとも低いチーム得点Dスコア1種目を除いた合計比較、さらに同点の場合、スコアの低いチーム得点Dスコア2種目分を除いた合計比較・・・というように序列を決定する。

<条件4>チーム内で各種目のもっとも高い得点を合計し、高い方を上位とする。

新体操

【個人・団体総合における同点順位の決め方】

いかなる順位においても、同点の場合、次のタイブレイク基準が適用される：

- <条件1> 個人競技では4種目の、団体競技では2種目のEスコアの最終得点の合計が高い選手（チーム）を上位とする。
- <条件2> 最高と最低のEスコアを除くことなく、すべての審判のスコアを採用した、4種目のEスコア合計の高い選手（チーム）を上位とする。
- <条件3> 個人競技では4種目の、団体競技では2種目のAスコアの最終得点の合計が高い選手（チーム）を上位とする。
それでも同点の場合、同順位とする。

【種目別決勝】

同点の場合、以下のタイブレイク基準が適用される：

- <条件1> 当該種目の最高と最低のEスコアを除くことなく、全ての審判の得点を採用したEスコアの合計得点の高い選手（チーム）を上位とする。
- <条件2> 当該種目のAスコアの最終得点の高い選手（チーム）を上位とする。
- <条件3> それでも同点の場合、同順位とする。

（注釈）英語版競技規則によると、種目別決勝は、Reg. 3.1.1を採用する、と記載があるしかし、<条件1>は4種目（個人）・2種目（団体）の合計をうたっており、種目別には該当しないので削除する。

また、<条件3>についても、4種目（個人）・2種目（団体）の文言を削除して採用する。